

# 酒とパソコンと少々のミルク

## ゆとりのある経営

成光 昭男

先月号で資金繰り表のお話をしましたが、資金繰りについてももう少し考えてみましょう。

資金繰りのことばかり考え、仕事に集中できない状況になれば要注意。買掛金や未払金の支払いや借入金の返済が遅れがちになってきたらすでに危険な状況です。直ちに対策を講じなくてはなりません。

酪農経営は農業の中では比較的収入が安定しています。それでも、乳牛の事故や、飼料の高騰、経営主の病気、気象災害など、多くのリスクに取り巻かれています。

リスクをできるだけ回避し、経営の安全性を高める必要があります。5月号で、経営の安全性を示す指標として「自己資本比率」を紹介しましたが、自己資本比率が高くても資金繰りに困ることがあります。

表1はある経営の簡素化した貸借対照表と経営指標です。自己資本比率は30%で問題はありませんね。

ここで注意したいのは、負債の中で流動負債の割合が高いことです。流動負債とは、買掛金、未払金のように短期間に返済する必要がある負債です。流動負債が多いと資金繰りが苦しくなります。

$$\text{流動比率} = \text{流動資産} \div \text{流動負債}$$

現金や預金が流動負債よりも多くあることが資金繰りの安定性を示す指標のひとつになります。これが流動比率です。一般的には170%以上が好ましいとされています。

表1では流動負債が多いため、流動比率が100%と低くなっています。

$$\text{固定長期適合率} = \text{固定資産} \div (\text{自己資本} + \text{固定負債})$$

返済期間が長期に及ぶ借入金は、1年間の返済額が少なく済みますので、自己資本に近い性格のものであるとする考え方で、低い方が良いのですが、一般的には50~80%が普通とき

れています。

表1では固定長期適合率が100%でやや高くなっています。

つまり、表1に示される経営では、資金繰りにやや不安があると言えます。

表1

資産の部		負債・資本 合計資本の部	
流動資産	5,000	流動負債	5,000
固定資産	5,000	固定負債	2,000
		負債合計	7,000
		当期利益	500
		元入金	2,500
		自己資本計	3,000
資産合計	10,000	負債・資本 合計	10,000

自己資産比率	30%	20~30%が普通
流動比率	100%	170%以上が好ましい
固定長期適合率	100%	50~80%が普通

では、どのような対策を取れば良いでしょうか。

買掛金や未払金などの短期借入金を長期借入金に整理することが考えられます。

表1の経営で、流動負債の一部を固定負債に変更することにより、表2となります。

流動比率、固定長期適合率が改善していることが分かります。

表2 流動負債の一部を固定負債に切り替えたとき

資産の部		負債・資本 合計資本の部	
流動資産	5,000	流動負債	2,000
固定資産	5,000	固定負債	5,000
		負債合計	7,000
		当期利益	500
		元入金	2,500
		自己資本計	3,000
資産合計	10,000	負債・資本 合計	10,000

自己資産比率	30%	20~30%が普通
流動比率	250%	170%以上が好ましい
固定長期適合率	63%	50~80%が普通

ところで、資金に余裕があれば、できるだけ早く負債を償還したいと思うのは自然な考え方です。

この場合、負債額が減少することにより自己資本比率は向上しますが、一方で流動資産が減少しますので、流動比率や固定長期適合率が改善されず、資金繰りがかえって悪化する場合がありますので注意が必要です。

具体的な対策は経営状況により異なってきますので、JA等に相談するようにしましょう。